

小規模企業景気動向調査

[平成30年5月期調査]

～改善が長続きせず、一步後退の小規模企業景況～

2018年6月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…改善が長続きせず悪化が続く小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに悪化、売上額DIは不変、採算DIと資金繰りDIはわずかに改善した。昨年と比べると休日が連続していたGWのおかげで、一部地域では宿泊業や飲食業が好調であった。ただし、引き続き、全体的な人手不足感は未だに改善せず、求人広告を出しても応募が無く、人が集まらないという声が幅広く聞かれた。

<製造業> ◇…先月まで好調の続いていた機械・金属が伸び悩み、紡績・繊維業が低迷する製造業…◇

製造業の業況DIは小幅、売上額DIはわずかに悪化し、採算DIと資金繰りDIは若干改善した。GWの観光客向けに食料品関連の製造業では、売上が伸びたとの声が聞かれた。一方で、先月まで好調を維持していた機械・金属関係の製造業では、他の製造業や他3業種と比べると好調さは際立つものの、業況DIは3か月前の低い水準に戻ってしまった。また、石油等の原材料費の上昇もあり、紡績・繊維業は停滞し、先行き不透明な状況が続いている。

<建設業> ◇…土木工事が引き続き好調も、人手不足・技術者不足により懸念が残る建設業…◇

建設業の業況DIは先月から一転、小幅に悪化した。売上額DIは先月に続きわずかに悪化、採算DIはわずかに改善、資金繰りDIは小幅に改善した。例年であれば、予算の執行開始前の時期で、公共工事が少ない時期であるが、一部地域では災害復旧工事等があり、土木関連は引き続き好調との声が聞かれた。一方で、建設関連は、職別工事業において技術者不足が顕著なため、全般的に受注はやや増加しているものの、先行き不透明により人や設備への投資に踏み切れないとのコメントが寄せられた。

<小売業> ◇…消費者の高齢化、消費意欲の減退、来店頻度低下等により経営体力の低下が著しい小売業…◇

小売業の業況DI、売上額DI、資金繰りDIはわずかに悪化、採算DIは先月から不変であった。GWによる行楽客や好天の恩恵を受けることのできた地域・業態では、飲食料品小売業、衣服小売業において売上が上昇したとの声が聞かれた。一方で、恩恵を受けることのできない地域・業態では、高齢化する消費者の消費意欲や来店頻度の低下に加え、商店近くの公共施設が改修工事に入ったために売上が減少するなど、周囲の環境の変化に苦しみ、経営体力の低下が顕著になってきている。

<サービス業> ◇…GW需要から飲食・宿泊業共に好況であったが、一時的な売上増加に楽観視できないサービス業…◇

サービス業の業況DI、採算DI、資金繰りDIは先月と比べわずかに、売上額DIについては小幅に改善した。5月期はGWの恩恵が目立った月であった。宿泊関連サービス業のみならず飲食業からも売上増加の声が寄せられた。一方で、個人消費の持ち直しは見られているが、この先も継続するかは先行き不透明なため、GWのような一時的な売上増加が見られても、飲食業内でも明暗が分かれており楽観視できないとのコメントが寄せられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 10.0	▲ 10.0	0.0	▲ 1.0	▲ 2.6	▲ 1.6	2.3	1.2	▲ 1.1
採算	▲ 14.9	▲ 14.2	0.7	▲ 12.1	▲ 11.1	1.0	▲ 9.4	▲ 8.2	1.2
資金繰り	▲ 10.4	▲ 9.1	1.3	▲ 7.3	▲ 6.2	1.1	▲ 8.6	▲ 4.1	4.5
業況	▲ 13.3	▲ 14.2	▲ 0.9	▲ 6.8	▲ 8.8	▲ 2.0	▲ 4.8	▲ 6.8	▲ 2.0

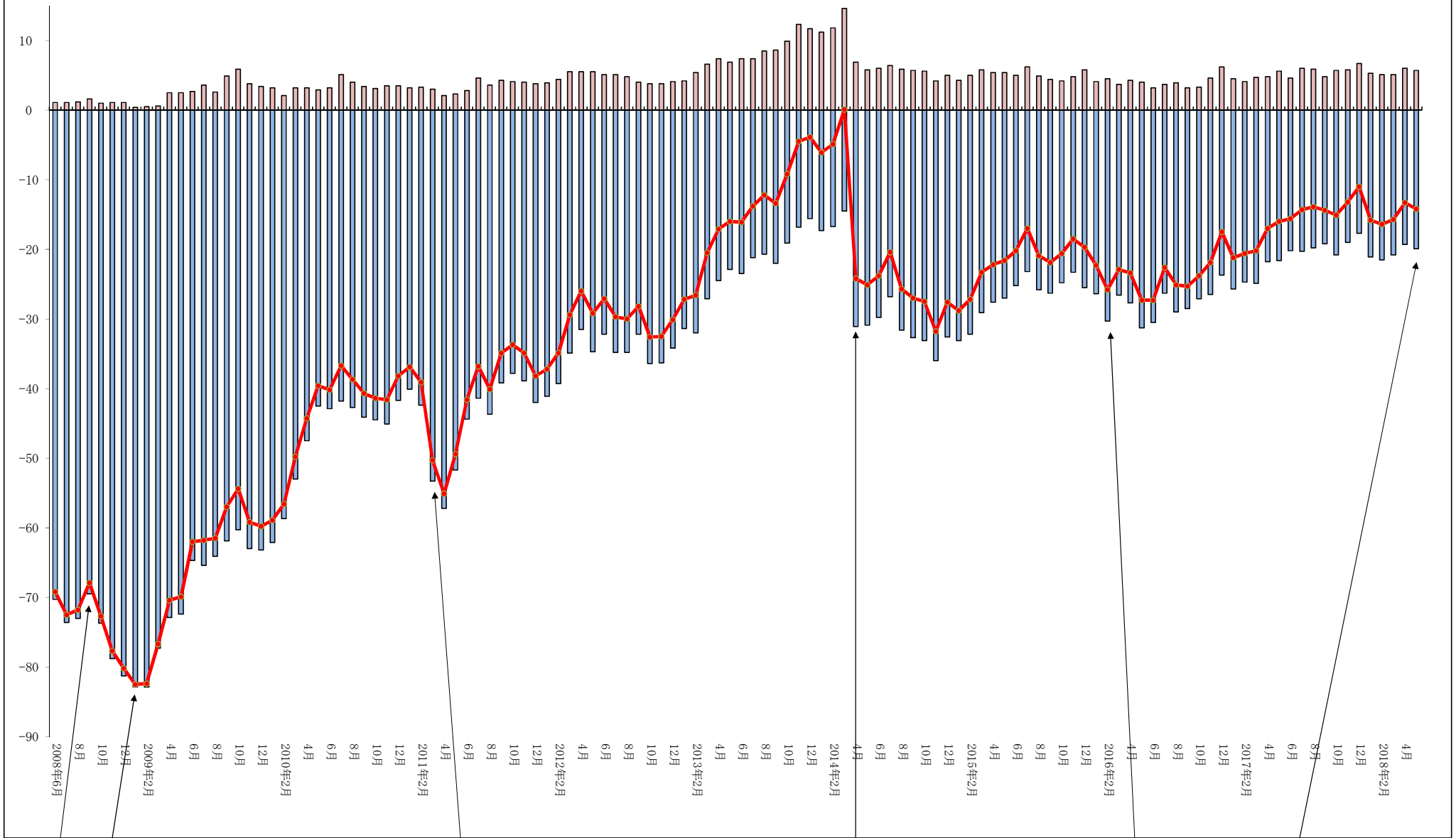
業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 24.6	▲ 25.2	▲ 0.6	▲ 16.7	▲ 13.3	3.4
採算	▲ 22.7	▲ 23.1	▲ 0.4	▲ 15.5	▲ 14.3	1.2
資金繰り	▲ 16.1	▲ 17.4	▲ 1.3	▲ 9.9	▲ 8.8	1.1
業況	▲ 25.9	▲ 26.5	▲ 0.6	▲ 15.9	▲ 14.9	1.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

18年/5月
-14.2

小規模企業景気動向調査(5月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・ゴールデンウィークの入り込みもあり観光関連企業は好転。金融機関の貸出状況は良好。
(島根県まつえ北商工会)
- ・GW等で多くのお客様がおみえになり、観光関連事業所の売り上げ上昇、また、雪が解けて建設業の事業等も本格的に稼働するようになり売上が上昇している。
(福島県北塩原村商工会)
- ・地域の経済状況は、特に金属加工関連の製造業は順調に推移している。
(神奈川県伊勢原市商工会)
- ・主に旅館業については、近隣市町村にある工業地帯の大規模修繕工事による企業関係者の宿泊が増加している。それに伴い付近の飲食店を利用する頻度も高くなった。
(茨城県潮来市商工会)
- ・主に製造業では「忙しい」という話を多く聞くようになり、今の時点では「景気が悪い」という話は聞くことが少ないように感じられる。しかし事業者ごとの差が大きくなっているように感じられる。
(静岡県富士市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・工業団地に新規企業が入りつつあり、人材不足感あり。金融機関の貸出態度は積極的。
(千葉県柏市沼南商工会)
- ・GW前半の入込客数は、前年並であったが、GW後半は、入込客が減少し登山客も前年の70%程度との報告もあり、宿泊客数も前年割れの模様であり、5月の関連業種を含めた景況は低調であった。
(鹿児島県屋久島町商工会)
- ・景気は相変わらず停滞している。各業種で売り上げは伸び悩み、借入に関しても斡旋する事業所がなく、金融機関も貸出しに苦労している。
(茨城県日立市十王商工会)
- ・先月同様、送料が高くなっている影響により原価率の上昇を招いている。にもかかわらず販売価格への転嫁は難しいのが現状である。
(佐賀県佐賀市南商工会)
- ・全産業ともに人手不足が顕著。特に、自動車整備士が不足している。また、サービス業や小売業も求人を出しても集まらないという声が多い。
(岐阜県笠原町商工会)
- ・個人製造業・小売業では特に、事業者の高齢化が進んでいて技術を継ぐことない廃業、病気による廃業等が増えている。また、事業主が高齢になることで病気になり、その子が介護をしながら事業を行わなければならないことの負担が大きいため、講習会や会議、アンケート回答等従来できていたことができなくなっている事業者も見受けられる。当然そういった方は縮小する市場に対する対応策として新たな取り組みを行う身体的・精神的余裕がなく、現状維持の商売に終始し、そのため売上が減少の一途をたどっている。単に高齢による廃業ではない部分で高齢化の影響があらわれている。
(岐阜県古川町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・本県の中核産業である自動車関連産業は好調であり受注量も安定している。今期は、ものづくり補助金の申請もあり、各社設備投資も積極姿勢が目立つ。
(群馬県笠懸町商工会)
- ・食料品関連の製造業は、NHK朝ドラ「半分、青い。」で取り上げられた影響で、五平餅の売上が増加している。
(長野県南木曾商工会)
- ・味噌や醤油、甘酒等の食品関連の製造業は、都市圏での売上が伸びてきているため、海外へも販路を求めようとしている。
(鹿児島県日置市商工会)
- ・観光客数が昨年同期より増え、その立ち寄りや集客の良かった道の駅、観光土産店及びスーパー等で売り上げが伸びたことから、そこへ卸す食品製造業も売上増加に繋がった。
(宮崎県高千穂町商工会)
- ・繊維関連の製造業は、受注増加に伴い、設備の増設を求められている企業もある。
機械・金属関連の製造業は、先端設備の導入を計画し、生産性向上を図る企業が多く見られる。
(石川県川北町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・機械金属関連の製造業において、受注状況に特段変化は見られないが、原材料等原価高騰により収益圧迫している現状である。
(茨城県坂東市商工会)

・水産関係は少し漁獲量が増えてきたが、原材料として潤沢とまでには至っていない。浜値によっては、加工業者が仕入辛いものもある。

えびせんべい製造業は、詳細不明であるが全般的に出荷が落ち込んでいる。(菓子業界全体という声もある)

(愛知県豊浜商工会)

・運送料の高騰に加え、作業工程の効率化が課題となっている。課題解決により経費を抑え、利益確保に繋げることが重要であり、生産性向上に繋がる施策等は効果的である。

(佐賀県佐賀市南商工会)

・食料品加工業でコメの値上がりと売り上げ減少により採算が悪化してこのまま消費税が上がると厳しい

(兵庫県新温泉町商工会)

・金属加工関連では一定数の受注数はあるものの、既成商品以外は小ロットで薄利の依頼が多く、利益を確保し辛い状況が続いている。衣料品製造業は夏を前に夏季衣料品の生産がピークを迎えているが原材料も値上がりし利益を確保し辛い状況が続いている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・食料品関連の製造業は、原油価格など素材費の上昇に伴ない仕入単価は上昇。GWは例年程度に推移したものの後半は客数の微減もあり資金繰りはやや悪化している。

繊維工業関連の製造業は、メーカーの海外生産傾向続く海外経由の仕事もあるが、受注状況は上下する。無縫製製品の増加もあり、全体的に受注は減少傾向。

機械金属関連の製造業は、設備導入及び設計担当社員の雇用により、売上高は倍増、採算および資金繰りについては良好である。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・30年前前後に立てた住宅がリフォーム時期に入っている。関連業者は忙しい状況が続いている。

(石川県内灘町商工会)

・民間工事需要が高く、大型工事受注に伴う設備投資、運転資金工面のための借入相談が増加傾向にある。

また、型枠、鳶など若手創業予定者の融資相談も多い。

(沖縄県うるま市商工会)

・土木関連は引き続き好調。例年は閑散期となるが災害復旧など工事があり各企業とも手持ち工事がある状態である。建築関連は大きな変化もなく例年と比較しても変わりはない。

(京都府京丹後市商工会)

・公共工事の仕事量は前年並み。住宅建築関連は、当地域内では新築が少なくリフォーム中心だが、地域外での受注により前年並みの仕事量を確保している模様。

(新潟県妙高高原商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・受注は増加傾向にあるが、先行きが不透明であり、人・設備への投資に踏み切れない。

(富山県庄川町商工会)

・住宅関連の建設業は震災復興需要がピークアウトしたため稼働状況が低調に推移している状況

(宮城県みやぎ北上商工会)

・売上が微増ではあるが増加。しかしながら建設材料などの価格変動により体制の改善にまでは至らない。従業員不足も少し緩和されてきているが依然として入れ替わりが激しい状況が続いている。

(新潟県黒埼商工会)

・公共工事が春先でしごとがまだでてきていない状況である。一般住宅については、修繕系の仕事が多く、新築物件の出足は鈍い。

(富山県上市町商工会)

・下請けで他社の現場に手伝いに入っている個人建築業者が増えている。

しかし、下請けで手伝いに入る場合、人工賃は本来の金額からかなり絞られるうえ、元請側は「外注費」下請け側は「売上」計上のため、下請け業者は消費税ばかりがかさむ現実があり、そういった建築業者は全く利益を得ることができない事業に苦しんでいる。

(岐阜県古川町商工会)

・高校増築、保育園の移転工事などがあるが、地元業者の参入は難しく、公共事業の恩恵がない。

(山梨県市川三郷町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・外国人観光客が増加しているに伴い、売上はやや好調に推移していると感じられる。

(沖縄県本部町商工会)

・土産品等の販売店はGWであったことから、好転。生活関連小売業は横ばい。

(富山県上市町商工会)

・家電関連の小売業は、ネットでの注文が増えてため、売上が増加傾向になっている。

(鹿児島県日置市商工会)

- ・各業種で売上の増加が見られた。
特に衣料系の小売業では、ゴールデンウィークのイベントの影響があるのではないかと推測される。
(高知県黒潮町商工会)
- ・食料品小売業：得意先が増えたため売上額が上昇した。併せて利益も好転し、資金繰りも好転した。
(岡山県浅口商工会)
- ・食肉関連の小売業は売上が増加している。その要因として、高齢者の食肉需要が増加しているためと思われる。
(三重県志摩市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・近隣の大型店が撤退したが、大きな景況はない。他の地域に流出している。
(石川県宝達志水町商工会)
- ・大型店等に押され、高齢で後継者不在の事業所にとっては、廃業の可能性があり、商工会としても課題となっている。
(福岡県福津商工会)
- ・食料品小売業では、顧客の高齢化や近隣の公共施設改修工事により売り上げが減少している。
(香川県高松市中央商工会)
- ・小売業の売上は安定しているが、5月後半からのガソリン等の値がありが色々影響が出ている。
(福島県会津美里町商工会)
- ・個人消費は確実に後退しており、物が売れない状況が顕著である。衣料品小売業では特売が当たり前の状態になっており、半額セールでは反応が鈍く、70～80%引きで反応がある状況で経営を圧迫している。食品小売業も単価が安いものを最低限買う傾向が強く、売れ行きは低迷している。
(福岡県鞍手町商工会)
- ・天候不順で温度差が激しく、野菜や魚介類などの生鮮品価格が高止まりしている。衣類の販売も芳しくなく、消費動向は、鈍いままである。
(香川県さぬき市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

- ・金属製品製造業の受注増に伴い、運送業も景況感あり。
(千葉県柏市沼南商工会)
- ・宿泊関連のサービス業は、観光客の増加のため、稼働率が良い状況になっている。
(岐阜県高山西商工会)
- ・洗濯関連については、気温の影響か例年より衣替え時期が早くなったのか、売上が若干増加した。
理・美容関係については特に大きな変化は無い。
(愛知県長久手市商工会)
- ・和食を扱う飲食業では、法要等での仕出しの注文は減少傾向であるものの、各種イベント等での弁当の注文は増加傾向にあり、弁当需要獲得に向けた取り組みを検討している。
(岡山県岡山北商工会)
- ・飲食関連のサービス業は、GWは天候が良かったため、前年比と比べ観光客が増えて、売上は増加した。
(長崎県松浦市福鷹商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・観光関連の事業所は、気候が良くなって人手が増えてきたが、地区内の潮干狩り場が1か所閉鎖したため潮干狩り客は例年と比べて減少。
(愛知県豊浜商工会)
- ・宿泊業者は、GWの春スキー集客が小雪の影響により減少した。加えて草津白根山の噴火警戒レベル引き上げによる通行止めが集客に影響している。
(長野県山ノ内町商工会)
- ・温泉旅館関連のサービス業では、業況の悪化を食い止めることで精いっぱいのため、プラスに転じる気配すら感じられない
(群馬県中之条町商工会)
- ・連休前にNHKなどでイカ不漁の報道があったことから観光客の入りか鈍く売上減となったところが多い
また、時化のため1日だけイカの提供ができなかったという事業所も見受けられた
(佐賀県唐津上場商工会)
- ・個人消費は持ち直しを見せているが、しばらく継続するかどうかは、先行きに不安を抱く事業所が依然として多い。
飲食業では、ファミリーレストランのような外食系では売上増加がみられているが、居酒屋などでは、前年比を維持するのがやっとのことである。
(兵庫県川西市商工会)